

院内がん登録生存率集計結果閲覧システムの見方

院内がん登録生存率集計結果閲覧システムは、全国のがん診療連携拠点病院等をはじめとするがん診療病院から収集した予後情報付院内がん登録情報に基づき、集計した生存率を閲覧することができるシステムです。

○集計対象 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターが実施する院内がん登録生存率集計に予後情報付院内がん登録情報を提出した施設
当該病院でがんの初回治療を開始された方（初回治療開始例）

○集計項目 胃癌、大腸癌（結腸癌、直腸癌）、肝癌（肝細胞癌、肝内胆管癌）、肺癌（肺小細胞癌、肺非小細胞癌）、乳癌、食道癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、子宮内膜癌、膀胱癌、甲状腺癌（乳頭・濾胞）、甲状腺癌（未分化）、甲状腺（髄様癌）、胆嚢癌、喉頭癌、腎癌、腎盂尿管癌、卵巣癌について、全体、病期、性、年齢、手術の有無別に生存率を検索することができます。

（上皮性のがんを対象としています）

総合病期：UICC（International Union Against Cancer）の定める国際病期分類に基づいたステージです。総合病期は、治療開始時点でのがんの状態をより精確に表している
とされる術後病理学的病期を第一優先とし、手術等の観血的治療を行っていない例では
臨床病期を用いています。つまり、がんの治療開始時点におけるステージを示していま
す。一般的な臨床現場で使用されている癌取り扱い規約にステージとは若干異なる部分
があります。

※UICC TNM 分類：2012年～2017年診断例まで第7版、2018年診断例より第8版準拠

実測生存率：死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因
による死亡も含まれます。

相対生存率：競合する死因（他の病気等による死亡）の影響を取り除いた生存率。主に
がん対策の評価においてがんの影響を見たいときに用いられます。生存率を計算する
対象者と同じ特性（性、年齢、暦年等）を持つ一般集団の期待生存確率より算出した期
待生存率で実測生存率を割ることによって、その影響を補正する方法。

※集計の詳細は、「がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計」の報告書をご覧ください。

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_reg_surv.html

※本集計結果を施設等でご利用される場合は、下記を出典として明記して下さい。

国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」

英語表記：Cancer Information Service, National Cancer Center, Japan.

Annual Survival Report of Hospital-Based Cancer Registries.

URL：<https://hbc-s-survival.ganjoho.jp/>